



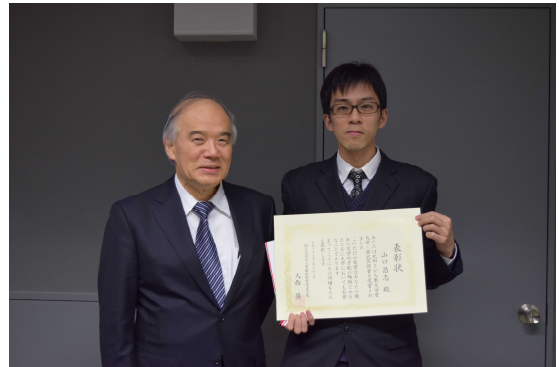
平成27年3月27日

九州さが大衆文学賞に 本学事務職員 山口昌志 氏 が大賞を受賞！

第22回九州さが大衆文学賞の大賞・笹沢左保賞に、本学事務職員の山口昌志 氏の「老虎の檻」が決まりました。

今回は、推理、歴史・時代小説を対象に募集し、国内外から275編の応募があり、作家の森村誠一氏、夏樹静子氏、北方謙三氏が審査を行い、今月23日に佐賀市にあるホテルニューオータニ佐賀にて贈呈式が開催されました。

また、本学においても山口氏の功績を評価し、大西学長より賞状が贈られました。（写真右）



山口氏は今回の受賞について「昔から、史実と史実の隙間を考えるのが好きでした。この東三河にも興味深い歴史は多くありますが、今後も、そういった史実に空想を織り交ぜて、習慣みたいになっている小説執筆を続けてまいります。」とコメントしています。

山口氏の執筆した「老虎の檻」は、武田信玄から追放された父・信虎が、復権を目指してさまざまな策をめぐらす戦国時代の歴史小説です。4月下旬より佐賀新聞で連載され、その後、祥伝社「小説NON」に掲載される予定です。

【九州さが大衆文学賞とは】

九州さが大衆文学賞委員会（佐賀銀行、ミサワホーム佐賀、佐賀新聞社）が主催する、短編推理小説、歴史小説、時代小説の公募新入文学賞。佐賀県・佐賀市・唐津市が後援し、村岡総本舗、萬坊が協賛している。

晩年を佐賀で過ごした作家笹沢左保（1930年 - 2002年）の提唱によって1993年に創設された。2002年10月に笹沢が逝去して以降は、その業績を記念し、大賞を「笹沢左保賞」としている。

※本件の詳細については、個別の取材も対応いたします。

【本件に関する連絡先】

広報担当：総務課広報係 高柳、梅藤 TEL 0532-44-6506